「令和5年度ﾌﾞﾛｯｸ別市町村民児協会長連絡会議」開催報告

令和5年度は、市町村民児協相互の連携を図り、民児協活動及び運営上の諸課題について研究協議を行うことを目的に開催当番市のご協力を得ながら開催しました。

各ブロック開催当番市の市長から歓迎のご挨拶をいただき、市町村民児協会長と市町村民児協副会長（1名）にご参加をいただき、「62市町村民児協正副会長から新任民生委員・児童委員に伝えたいこと」を研究協議のテーマにグループ毎の意見交換を行いました。

　また、参加された委員（110名）から研究協議のテーマについて、アンケートをいただきましたのでいくつかご紹介いたします。

A.新任委員へ会長、副会長として伝えたいこと

・一人で悩まず、会長、副会長又は先輩委員に相談

・緊急事態に出会った経験は、定例会で報告し委員で共有する

・目くばり、気配り寄り添って見守る

・地域の実情把握に努める

・定例会、研修等に参加することで学ぶことがある

・自分の生活が第一・無理のない活動をする

・守秘義務があることを忘れない

・「どのように活動するか」に迷ったときは、「なぜ活動するのか」にさかのぼって考える

・「～ねばならない」と考えず、「できることを、できる範囲でやればよい」と考える

・民生委員信条から、民生委員・児童委員の心得を学ぶ

・悪口は言わない・聞かない・聞きながす

・定例会では、遠慮しないでわからないことは、質問する

・行政・社協・地域包括等専門職とのつながりを大事に連携する

・民生委員・児童委員は、支援者に深く立ち入ることはせず、専門職へつなぐ

・信頼関係を大事に

・挨拶をすることを大切に

B.民生委員・児童委員になってよかったこと

・「ありがとう」と感謝の言葉をいただけた

・活動を通しての交流が深まり、人的なつながりが持てて広がった

・研修に参加でき、視野がひろがり、役に立てている

・多くの方との出会いが財産になっている

・自分を必要としている人がいることで、自分としての自信につながる

・定年退職まで、地域のことを知らず、知人が少なかった自分が、民生委員・児童委員になり、地域のことを知り、知人も増え充実した人生を過ごせている

・住民の皆さんだけでなく、関係機関とのつながりが円滑に出来るようになった

・福祉に関する知識の取得が出来た

・人と人とのつながりの大切さを知った

・普段のあいさつが、気軽にできる

・相談→解決→感謝される・喜んでもらえる

参加された皆様の「アンケ―ト」を全て掲載することが紙面の関係上難しいため、アンケートの結果を要約し上位10項目をグラフにしました。

今年度は、各市町村民児協会長と副会長にご参加をいただきましたが、役職に関係なく類似のご意見が多いことから、同じ思いで活動されていることがアンケート結果より伺うことができました。

最後に、短歌で回答いただいた委員の一句をご紹介させていただきます。

「ありがとう　地域の方の　一声に　世話やき活きて　信頼確信」

写真エリア「市長を囲んで」

＜東部ﾌﾞﾛｯｸ・久喜市＞

令和5年10月20日

＜西部ﾌﾞﾛｯｸ・飯能市＞

令和5年10月5日

＜南部ﾌﾞﾛｯｸ・戸田市＞

令和5年9月21日

＜北部ﾌﾞﾛｯｸ・秩父市＞

令和5年10月2日